



新病院における 皮膚科のとりくみ

皮膚科部長 遠藤 雪恵



▲皮膚科スタッフ（前列右から3番目が遠藤医師）

当院皮膚科は、利根沼田地域において唯一の入院病床を有する皮膚科であり、周囲の医療機関と連携をとりながら中核病院として地域医療に取り組んでいます。皮膚科医師不足の影響から、皮膚科一般外来が完全予約制になるなどご不便をおかけしておりますが、ご紹介や救急疾患への対応も含め、この地域の皆様に安心していただける皮膚科医療を提供できるように日々努力してまいります。

「かゆみ」の季節になりました

「かゆいのは痛みよりつらい」とよく言われます。空気が乾燥する季節となり、アトピー性皮膚炎や老人性皮膚掻痒症など、かゆみの悩みを抱える方が多くなってきました。かゆみは「ひっかき反射」を起こすという特徴があり、傷ができて痛むまでひっかいてしまうこともよくあります。

かゆみ治療の第一歩は、不要な刺激や原因・増悪因子を避け、かゆみを引き起こす化学物質を抑える薬を飲んだり、塗ったりす



▲肘にできたアトピー性皮膚炎

ることです。

新病院では、外来診察室が広く、プライバシーに配慮したつくりになっており、患者様一人一人の原因・増悪因子を踏まえて適切な治療を目指したいと思います。

増えています「皮膚癌」

皮膚癌と一口に言っても様々な種類があり悪性度もまちまちですが、主要なものは発生頻度順に基底細胞癌、有棘（ゆうきよく）細胞癌、悪性黒色腫で、いずれも増加傾向にあります。

皮膚科外来では、まず目で見て、患者様が心配されている病変が癌の可能性があるかどうかを判断します。レンズや特殊なカメラを通して細かいところを観察することもあります。診察により、少しでも皮膚癌が疑わしければ一部をとり、病理検査で最終的に癌であるかどうか判断します。

当院では、群馬大学医学部附属病院皮膚科との連携・支援により、癌の種類や進行度によって適切な治療を受けられる体制となっています。外科的に切除するのが最も一般的な治療法ですが、新病院では、病室が広く個室も多くなり、気持ちよく治療に専念していただきたいと思います。また、早期であれば付け薬のみで完治できることもあります。

皮膚癌は顔にできることが多く、治療によって整容面、すなわち見た目をいかに損なわないようにすることも重要なポイントです。そのためにも、早期に発見して、小さいうちに治療をすることがとても重要です。

現病院から新病院へ

新病院への通院は、ご安心ください!!

～バス路線の確保と
通院支援の拡充を検討中～



現在、沼田市とバス路線の確保について相談を重ねる中で、路線バスの新病院へのルート拡大を検討していただいています。

生協としても現病院から新病院へのシャトルバスを運行、あわせて通院支援の拡充をします。詳細は検討中です。

2011年10月から開始した通院支援は、2014年10月現在、登録者数1,226名!!

通院支援は、組合員さんからの出資金で運営されています。

★問い合わせ先：

事業部（通院支援係）

TEL 0278-22-5050

医療安全活動について

医療安全管理者 千木良美佐子



▲医療安全管理委員会(前列左から2番目が千木良副看護部長)

医療安全活動の目的は、病院の医療安全文化の向上です。

当院は、利根沼田地域の急性期一般病床と10月より開設したHCU 4床を有し、安全で安心な医療の実践に努めています。医療の高度化に伴って、医療安全管理の重要性がますます求められるなか、各部署の責任者がメンバーである医療安全管理委員会が中心になり事例検討や医療安全ラウンド、全職員対象の研修会の開催など、日々医療安全文化の醸成に努めています。

「人は誰でも間違える、だからこそチーム医療で医療事故を防ごう」として、たとえ間違っても重大事故にならないような仕組み作り(スイス・チーズモデル)に努めていますが、現病院ではハー



▲転倒転落チームラウンド

ド面に制限がおおく改善が思うようにすすみませんでした。しかし、新病院では飛躍的に改善されます。転倒・転落防止を目的に療養ベッドは患者様の自立度に応じ上下可能な電動式に順次変更していきます。また、患者様・ご家族様と情報共有するためにピクトグラムを採用します。

今後も安全で安心な医療を提供できるよう努力していきたいと思えます。

※ピクトグラム=患者さまへの支援を安心・安全に提供できるように、患者様の状態について情報共有するためのコミュニケーションツールです。見やすい場所に、わかりやすい図記号で、患者様の状態や制限事項などを表示できるので、職員に限らず患者様のまわりに集う人たち全員が、その患者様に必要な配慮をしやすくなります。



▲【ピクトグラムの例】 下図はパラマウント社製

新病院建設進捗状況

～年内を目途に外部足場を解体予定～



◀写真提供 清水建設
(片品川方面・南側から撮影)

正面玄関前の大庇 ^{だいひさし} 高さ：6.9m 幅：32.5m

本体棟では、メインエントランスの大庇の鉄骨工事が行われています。また、内部は区画壁が立ち上がってきており、部門責任者等による現場見学会が随時開催され、諸室の広さや電源の位置確認などが行われています。